

平成29年3月13日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 福岡県立明善高等学校 中島修一
2. 講師氏名: Dr. KHAN HIRA, Md Nuruzzaman (熊本大学大学院先端科学研究部)
3. 同行者氏名: 吉田恭平 様(熊本大学大学院先端科学研究部)
4. 実施日時: 平成29年3月13日 (月) 13:35 ~15:35
5. 参加生徒: 2 年生 8人、 ___ 年生 ___ 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 8人)
備考: (例:理数科の生徒)理数科の生徒
6. 講演題目: (英文) 1) General introduction about my country
2) General introduction about my research and why become a scientist.
3) Present research
(和文) 母国の紹介と科学者を志した理由、そして研究についての概要
7. 講演概要: カーンヒラ先生の母国バングラディッシュの紹介と科学者を志した理由についての話の後、自己組織化の現象を利用したナノ加工の事例を先生の学位論文の内容や現在のご研究の内容について、パワーポイントスライドや動画を用いながら、かみ砕いて詳しく説明して頂いた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 約120分 質疑応答時間 随所 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演 実習はなし
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポートあり。生徒にとって難解な点を、講師の先生の指示で補足して頂いた。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
事前に送付してもらった研究概要の英文コピーを配付するとともに、念のために直前に係教師による対訳を配布した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項:
身近な応用例も含めての解説と同時に、比喩的な説明も取り入れて頂き、担当の理科教師としても大変勉強になった。同行者の方のサポートも素晴らしかった。